

平成28年度 三和地域協議会事業計画

1, はじめに

三和地域の平成28年2月末現在の人口は3,548人となり、少子化による学校統廃合の計画が示されるなど、依然として過疎化による厳しい状況は続いています。また、地域では世帯減や空き家の増加による自治力の低下が課題となってきました。

このようななかで三和地域協議会は、昨年4月に発足以来、「みわを元気に」する事業や、地域存続に必要な事業に取り組んできました。この一年間の活動により、ようやく住民の皆さんにも協議会の存在が理解され始めたところです。

平成28年度は、学校統合にかかわる課題や地域自治機能の衰退問題に取り組むなど、新たな課題にもチャレンジしながら、引き続き行政、住民と協働して様々な活動を進めていきたいと考えています。

2, 全体事業

昨年開催した「まちづくりシンポジウム」や「まちづくり講演会」のように、三和地域全体の課題を考え、活動を進めていくために必要な事業を実施します。

地域活力部会を中心に取り組む新たなイベントのほか、地域課題に見合ったテーマや講師等をお願いし、地域住民の知恵や元気を引き出せるような取り組みを実施したいと考えています。

3, 常任委員会

三和地域協議会の活動全体を考え執行していく機関として定期的に開催し、地域の求める課題に敏速かつ的確に対応できるよう努めます。また、行政機関や各種団体との連携を密にし、効果的で効率的な事業運営をめざします。

4, 部会活動

(1) 地域活力部会

地域交流カフェ「みわふれあいカフェ」を継続し、ふれあいの場を広げるべく憩いの広場以外への出店も考えていきます。また、三和ふれあいフェスティバルにて披露し、大きな反響のあった三和音頭については、新たな音源とともに普及活動を行い、三和地域の踊りとして再び定着していくことを目指します。さらに、三和地域では初となる子ども向けのイベントを新たに開催するなど、「三和っていいところだな」と思ってもらえるような活動を行っていきます。

○ 地域交流カフェ「みわふれあいカフェ」

平成27年12月から冬季休業中のみわふれあいカフェは、平成28年4月から再開。開店・閉店時間については、気候の変化に応じて随時相談しながら、必要があれば臨機応変に変更していきます。

カフェはテント型のため移動が可能なので、出張カフェの開催も検討します。

○ 三和音頭の普及

現存の音源よりテンポアップした、新たな音源を制作します。三和地域の小中学校や各種団体・自治会等に音源を配布し、町内行事にも参加、三和音頭の

普及に努めます。

○ イベントの開催

子ども向けイベント「みわこどもまつり」を5月に開催します。イベントは一度きりのものにならないよう、場所や規模・内容などを変えて関連する事業を、年間を通して数回開催できるよう検討していきます。

(2) 生活基盤部会

福知山市が進める「地域公共交通網形成計画」策定の動きをにらみながら、地域協議会としても、町内を走るバス路線全体を見直し、利便性の向上を目指します。併せて、バスなどが走らない公共交通空白地での有償運送について、具体的な検討に入ります。また、スクールバスの活用や、市が検討しているデマンド運行についても地域交通に有効か検証します。

このほか、自治会運営が難しくなっている小規模自治会などが抱える問題に対し、自治機能をいかに存続・発展させるか、自治会と一緒に考えます。

○ 市バスなど公共交通の存続・充実

- ・乗り継ぎや待ち時間など含め全路線を見直し、利便性をアップ
- ・公共交通空白地での有償運送の検討
- ・スクールバスの有効活用

○ 自治会活動を応援

- ・過疎高齢化が激しい小規模自治会などとの話し合い
- ・今後の住民自治のあり方について検討

(3) 定住促進・情報発信部会

定住・移住の促進を図るため5ヵ年計画を策定した福知山市との連携、協力を一層深めてステップアップを目指したいと思います。これと並行して、定住・移住問題をより身近な問題として住民の皆さんに考えていただけるような手立てを講じていきたいと思っています。ホームページの充実にも力を注ぐ方針です。

○ 体制強化の福知山市との意見交換、連携の緊密化

福知山市の機構改革で定住・移住関係の窓口が一本化されるのに伴い、関連部署ともこれまで以上に緊密な意見交換・連携をしながら定住、移住促進に向けて取り組みます。また、福知山市が平成27年10月に策定した「まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略」が具体化に向けて動き出すのに合わせ、住民組織として可能な範囲で協力していきます。

○ 定住、移住問題への住民の関心の更なる向上

定住や移住について、これまで以上に三和地域の住民の皆さんに関心を持ってもらうため、シンポジウムなどを通して理解を深めてもらう機会を設けます。

○ 京都移住コンシェルジュとの協同

大都市などから農村部などへの移住を希望する若者らの「窓口」として接している京都移住コンシェルジュから定住・移住希望者が何を求めて定住等を希望しているのか、定住等を断念する理由は何かなどを提示してもらい、それらを生かす方策を立ててIターン希望者らの定住・移住につなげたいと思い

ます。

○ 移住者に親切な受け入れ態勢の確立

隣人関係や地域の共同作業（使役）への参加等に絡む感情問題の発生を未然防止するためのあり方について、各地区の実態把握と並行しながら検討。地域社会での「共同、共生」に向けた方策を検討していきたいと思います。

○ ホームページの更新

三和地域協議会のホームページのヒット数を参考にしながら、より多くの人に見てもらえるようブラッシュアップに努めます。

5、特別プロジェクトの取り組み

◎ 学校統合問題検討部会（仮称）の設置

福知山市教育委員会の市立小中学校再編計画により、三和地域においても小学校の統合及び小中一貫校の導入について提案がなされています。小中学校のあり方については単に子供や保護者の問題というだけでなく、地域全体の将来に関わる重要な課題といえます。

三和地域協議会では、自治会やPTAからの要望を受けて、この問題を地域全体の将来に関わる課題として検討する「特別部会」を設置し、教育委員会の提案や地域住民の思いを調査研究して、三和地域としての意思形成を図っていきたいと考えます。また、そのために必要な研究を進めます。

6、地域住民活動支援事業

三和地域の維持存続を図り、ここで暮らす人が元気で過ごせるように、様々な活動をする団体や地域があります。それらの活動が促進されるよう、地域協議会として支援します。また、様々な活動を始めたいという人の相談をうけたり、各種の支援制度などについてアドバイスし、地域住民活動の活発化を図ります。

7、広報紙「みわを元気に」の発行

定期的に広報紙を発行し、地域における住民活動情報の発信と協議会活動の理解促進に努めます。

8、市役所三和支所委任事業

三和ふれあいフェスティバルなどの地域振興イベントを始め、三和を元気にする活動の事務局機能を果たします。また、福知山観光協会三和支部の事務局、三和町自治会長会の事務局を担うとともに、特産品活用活性化事業を支援します。

福知山市のなかで先行する地域住民団体としての役割や、各種審議会等への参加要請に応えるとともに、無線放送の録音等、日常的な業務を引き続き担います。

9、その他の事業

その他、三和地域の存続発展と、地域住民の福祉向上につながる事業に取り組みます。